

交通事故多発の主な原因と違反状況

一時停止

規制標識

一時停止



一時停止の標識があるにも関わらず、一時停止をしない車が目立つ。大半の車が守っていない危機的状況である。



スピード違反

規制標識

最高速度



いつでも危険に対応できるようスピードは控えめに、団地内は30km以下(30ゾーン)を遵守する。



横断歩道

指示標示



歩行者や自転車が歩道付近にいれば、直前の停止線で停止できるようなスピードで運転及び追抜き禁止とする。

信号無視

歩行者、車両(軽車両含む)などは信号に従って進行しなければならない。

信号が変わっても、歩道や車道等へ進入することが多い。極めて危険な行為で事故の原因となる。



安全の確認と合図

左折、右折か転回しようとする地点(交差点で左折、右折する場合は、その交差点)から30m手前の地点に達したとき合図する。直前で合図する車が多く、追突事故の原因となる。

標識・標示とは

「標識」

交通規制などを示す標示板のことをいい、本標識と補助標識がある。

- ・本標識には、規制標識、指示標識、警戒標識、案内標識の4種類がある。
- ・補助標識は、規制標識など本標識の意味を補足するものとして用いられるもの。

「標示」

標示とは、ペイントや道路びょうなどによって路面に示された線、記号や文字のこと

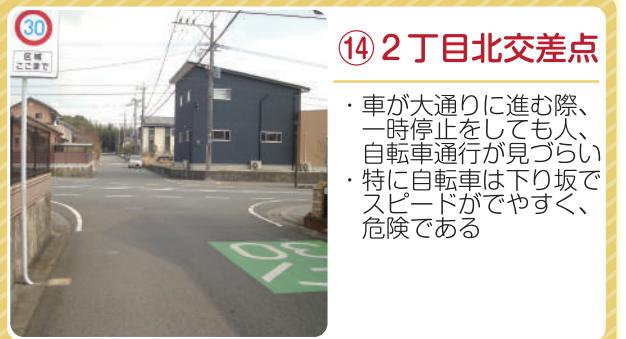
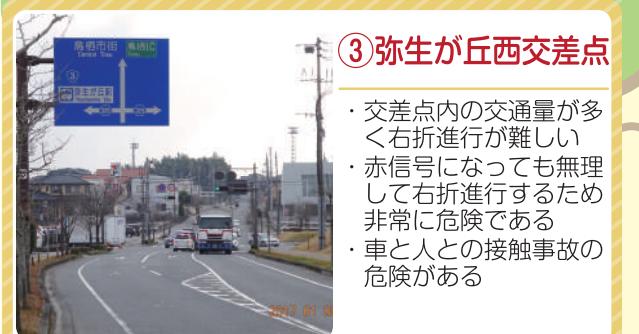
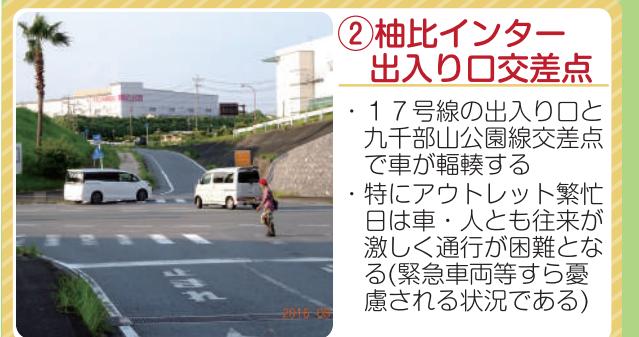
交通事故ゼロのまち 弥生が丘



ayoi

弥生が丘地区まちづくり推進協議会

弥生が丘地区危険箇所マップ (交通安全編)



⑭ 2丁目北交差点

- 車が大通りに進む際、一時停止をしても人、自転車通行が見づらい
- 特に自転車は下り坂でスピードがでやすく、危険である

⑬鹿毛病院北側のT字交差点

- 車が大通りに進む際、一時停止をしても人、自転車通行が見づらい
- 特に自転車は下り坂でスピードがでやすく、危険である

⑫ふれあい通りと中通りの交差点

- 当交差点は南北側が一時停止であるが大半の車が励行しない
- 小学生、中学生が登下校時利用する重要な通学路である(一時停止の最も必要な交差点である)

⑪まちづくり推進センター入り口

- 近くに信号機があるが交差点が遠いため直近を横断する人がいて危険である(総合病院、幼稚園、薬局や通勤・通学生も利用する道路で多数の住民が横断する場所である)

⑩東公園(時の門)横の交差点

- 車が大通りに進む際、一時停止をしても人、自転車通行が見づらい
- 特に自転車は下り坂でスピードがでやすく、危険である。

⑨東公園(時の門)の出入り口

- 車が大通りに進む際、一時停止をしても人、自転車通行が見づらい
- 特に自転車は下り坂でスピードがでやすく、危険である